

スカイホーム横浜

平成21年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1470300375	事業の開始年月日	平成14年9月1日	
		指定年月日	平成20年9月1日	
法人名	株式会社カスタムメディカル研究所			
事業所名	スカイホーム横浜			
所在地	(〒220-0073) 横浜市西区岡野2-8-3 KMプラザ			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護 <input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
		定員計	17名	
		ユニット数	2ユニット	
自己評価作成日	平成21年10月31日	評価結果 市町村受理日	平成23年1月7日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	http://center.kaigo-kouhyou-kanagawa.jp/
----------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>誕生会や季節に応じた行事、年一回のバス旅行を積極的に行っております。地域に慣れ親しむように地域活動に積極的に参加しています。</p>

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 神奈川県社会福祉協議会		
所在地	神奈川県横浜市神奈川区沢渡4-2		
訪問調査日	平成21年11月26日	評価機関 評価決定日	平成22年1月18日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>◆理念に基づき、利用者がその人らしく、家庭にいるような環境で過ごせるよう、取り組んでいる。 ◆知人や家族が訪問しやすいよう、お茶菓子などを用意して一緒に食べて過ごしてもらったり、居室への宿泊、馴染みの美容院に行くなど、利用者が今までに築いた人・場所との継続を大切に支援している。 ◆利用者の希望に応じて、買い物や散歩に出かけている。車椅子使用の利用者も一緒に電車を使用して外出に出かけたり、年1回のバス旅行では、途中でフェリーを使うなど、利用者に楽しんでもらうための工夫をしている。 ◆建物の構造を活用して、屋上で日光浴をしたり、プランターを置き利用者に花を育ててもらい、心が和めるようにしている。屋上への階段を活用して、筋力の維持に努めるなどの支援を行っている。 ◆運営推進会議で、事業所から積極的に地域の方に働きかけ、利用者の徘徊時や事業所の火災時に、地域の協力支援を得られることになっている。</p>
--

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

スカイホーム横浜

事業所名	スカイホーム横浜
ユニット名	赤い靴

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

スカイホーム横浜

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	申し送りやケース会議等でケアプランに対し、モニタリングを行い理念に沿った支援がなされているか等、振り返り確認を行っています。	入職時に管理者から理念を説明し、また、毎日の朝礼でも振り返り、常に理念を念頭におき、利用者がその人らしく、家庭にいるような環境で過ごせるよう、日々のケアに繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	お祭り・町内会の催し物等に参加したり、散歩・買い物等、近所で行い地域とのコミュニケーションを取っております。	町内会に加入し、お祭りや運動会等の行事に参加し、利用者の楽しみとなっている。また、散歩で出かける公園では近隣の方と会話をするなど、地域の方々との交流を図っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の人をホームに招き、誕生会・食事会等を通じて認知症への理解を深めております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的に会議を開催し、自治会・民生委員・包括の方々から評価や意見を頂いております。	3カ月ごとに開催し、事業所の活動報告の後、要望や助言等を受けている。事業所からの呼びかけで、利用者の徘徊時、事業所の火災時は、地域の協力を得られることになっている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市・区サービス課・高齢担当者の方には情報提供を頂きホーム内の困難事例等のアドバイスを頂いております。また、ホームの空き情報の公表も行っております。	事業所の困難事例を地域包括支援センターに相談している。また、生活保護を受給している方の受け入れの指定を受けており、事業所の空き情報を市に報告している。	

スカイホーム横浜

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	利用者に対しての身体・介護・心理・経済等 介護者の言動行動を多方面から日々振り返りお互いを評価し、話し合いの機会を持つ様努めております。	日中は玄関に施錠をせず、チャイムや、職員の見守りにより対応している。現在、転倒防止のためにやむを得ず、家族了解のもと、ベッド柵を使用している利用者もいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修に参加し、日常的に何が虐待に当たるのか話し合いの場を設け、高齢者の虐待防止の定義を廊下に掲示する等職員全員で遵守する様にしています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修に参加し、スタッフが事業や制度の理解に努めご家族へ申し伝えております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時、契約書に沿いホーム内での出来る事、出来ない事を明確に説明し、ご家族や入居者の意向要望等を伺い十分に納得され同意した上で契約を結んでおります。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議等で第三者を含めて、ご家族様が自由に発言し意見交換出来る場を作り、サービスの改善に努めております。	家族の面会時には職員から話しかけ、意見等を引き出すよう心がけている。運営推進会議でも、利用者、家族の意見・要望等の把握に努めている。	

スカイホーム横浜

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	常にお互いの気付きや意見を交換し問題や疑問が生じれば日々の業務の合間を見つけ、納得出来るまで話し合える体制作りをしています。	職員の気づきや提案等は、朝の申し送りや会議の際に話し合い、反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個別ミーティング・全体ミーティングを行いスタッフ一人ひとりの得意分野を見つけ達成した際の意欲や自信に繋げて行く。給与水準等も努力・実績・年数等考慮し検討しております。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修の参加も積極的に行い、研修会等の発表の場を設け職員全員に伝える様にしております。社内においてもOJTを活用し、スキルアップに努めております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	連絡会やブロック会等に参加し、系列の研修会にも出席しサービスの向上に努めております。交換研修も行っております。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居時の面接において、本人からゆっくり話しを伺い、その中から直面している問題点・不安等について伺い一緒に支援して行く事を伝えております。		

スカイホーム横浜

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の困っている事・希望等を何度となく話す機会を作り、納得の行く様傾聴に努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	必要としている支援、困っている事を良く聞き見極め、具体化し広い面からの支援に努めております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	個々の得意とする事（雑巾縫い・植木の手入れ）興味を引き出し趣味等も生活の中で発揮出来る様な関係作りに努めております。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会に来られない場合でも電話や手紙により日々の状況・昔の様子等を聞き参考にし、常にご家族と共に考え支援を行っております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居前の近隣の方々や友人・親類との面会も自由に行い時にはご家族の自宅に外泊等も行っております。	知人や家族が訪問しやすいように、手紙や電話の取り次ぎを行ったり、お茶菓子や昼食の準備をして一緒に食べて過ごしてもらうなど、関係が途切れないよう支援することに努めている。	

スカイホーム横浜

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	供用部分を自由にくつろげる場と一緒に物を作ったりテレビを見たりと語り合う環境作りに努めております。トラブルが発生した際は職員が未然に防げるよう努めております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去の際にはその人に合った行き先やサービスの紹介を行っております。また、ご家族と連絡を取りその後の経緯も把握する様努めております。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	買い物に行きたい・何か食べたい等、本人の希望に副える様努めています。また、一日の過ごし方においても共同で行う事以外は自由に過ごして頂いております。	利用者一人ひとりの思いや意向を、会話、表情や様子等の観察から把握している。個人日誌にその日の会話をそのまま記載して、思いや意向の把握に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に生活の様子等は頂きますが、その都度ご家族から情報を得たり他のサービス利用についても折にふれ情報提供を頂いております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個人の希望する新聞を取ったり、毎朝のバイタルチェック・食事量チェック・排泄チェック等基本情報を元に把握し毎日の支援に生かしております。		

スカイホーム横浜

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者の些細な変化やニーズも見逃さず課題に上げミーティングやケース会議を行っております。また、ご家族の方にも会議等の参加の働きかけをし意見を取り入れケアに生かしています。	アセスメントで本人の生活歴や状態を詳しく聞き取り、本人、家族の要望を反映させ、介護計画を作成している。ケース会議を開き、本人、家族の意向を踏まえて、職員間で話し合い、介護計画の見直しを行っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個々の記録は現在センター方式D-4を活用し、より一人ひとりのニーズを解り易くする様に入居者の言葉を必要に応じて申し送りノートに記入し情報の共有に努めております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	一階に小規模多機能があり機械浴が完備。必要に応じて使用しています。また、グループホームにとらわれず他のサービスが必要であればその都度検討を行っております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	墨絵等ボランティアの方々の協力を得たり、非常時の対応には消防署との通報設備を活用し協力を得、安全で不安のない豊かな生活を楽しく送れる様支援しております。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月二回の内科医の訪問診療・月二回の認知症専門医の訪問診療によりアドバイスや相談を受けております。デンタルクリニックも利用しています。	協力医療機関以外の医療機関での受診も可能である。その場合の付き添いは、基本的に家族対応である。協力医療機関とは、相談をしたりアドバイスを受けている。	

スカイホーム横浜

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護師に医師への相談に至る前の段階（バイタル・食事・排便等）への指導相談を行っております。また、緊急時対応もスムーズに医師と連絡出来る様に連携を取っております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院した時点で速やかに主治医・ご家族・病院関係者と話し合い、協力医療機関からも協力を得て退院の見通しをつけております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	まず本人・ご家族の意見を伺い医療面でのケアが必要とされた場合、医師の意見を参考に本人にとって何が最良の支援なのかをカンファレンスを繰り返し行いケアに繋げております。	事業所としてターミナルケアは行わない方針である。現在、急に重度化した利用者の家族の希望により、家族と話し合い、全職員で対応を共有し、支援を継続している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救急時マニュアルは全スタッフが把握しております。消防署の救命講習や訓練にも積極的に参加しております。緊急時対応連絡は素早い対応が出来る様に解り易い場所に掲示してあります。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署職員指導の基で避難訓練の実施、業者による定期設備点検、運営推進会議での町内の協力の呼びかけ、防災頭巾使用の利用者を含めた避難訓練を行って災害時に備えております。	緊急対応マニュアルを整備し、年2回、消防署の立ち会いのもと、利用者も参加して避難訓練を行っている。事業所の火災時には、地域から協力を得られることになっている。地域の避難訓練には職員が参加している。	

スカイホーム横浜

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの人格を尊重し、言葉かけや対応に配慮しています。レク・体操等、共同で行う事以外は自室やリビングで自由な時間にやりたい事を選択して頂き過ぎて頂いております。	利用者一人ひとりの人格を尊重し、言葉遣い・声のトーン・表情・視線等に注意して接するよう、朝の申し送りや会議で折りにふれて徹底している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	基本的には入居者やご家族の方と話し合い本人の希望に沿った趣味や活動・嗜好品の購入等自己決定して頂いております。特に購入の際は本人に選んで頂いております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ホームでの生活は常に入居者が主人公です。個々のペースやスタイルを尊重しその人に相応しい生活が送れる様支援しております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人の選択により日々の洋服・整容を決定しております。汚れ・季節感の混乱等にはさりげなくスタッフから声かけを促しております。二ヶ月に一度訪問理美容も行っております。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者のリクエストにも柔軟に対応し、メニューを決める事もあります。入居者と一緒と同じテーブルに付き見守りながら同じ食事を一緒に楽しんでおります。	調理、配膳、下膳、洗い物など、その人ができることを行ってもらっている。訪問調査の昼食では、すし飯を混ぜる人・和え物をあえる人・食器を洗う人が生き生きと手伝っているのを、職員は微笑みながら見守っていた。	

スカイホーム横浜

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日、水分量・食事量をチェックし、個人日誌に記載しその日の体調に応じ判断して支援しております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後、うがい・歯磨きを行っておます。義歯は夕食後、回収し洗浄剤に浸け朝渡しています。必要とあればデンタルクリニックに来て頂き診療を行っております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排便チェック表で個別の排泄パターンを把握しプライドを保持しながら周囲に気付かれない様配慮しております。排泄が困難の場合は時間でトイレ誘導を行っております。	排泄チェックシート、個人記録で各利用者の排泄パターンを把握し、言葉遣いに配慮しながら、その人の排泄パターンに合わせた誘導を心がけ、トイレでの排泄支援に繋げている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便チェック表を作成し、体操・散歩等を取り入れ快便を促す。冷たい牛乳やヨーグルト等を工夫し自然排便を心がけております。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	本人の生活習慣や希望・その日の体調等に合わせ入浴出来る様配慮しております。シャワー浴はいつでも可能な状態で対応しております。	入浴日以外にも、本人の希望や、その日の体調等に合わせて対応している。また、入浴剤を用いて、入浴を楽しめるよう工夫をしている。入浴を好まない利用者には、声かけなどに工夫している。	

スカイホーム横浜

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	レクや散歩等、本人の意思を尊重して行っておりますが、個々の疲れ具合を配慮し夜間の睡眠に障害がない様支援しております。障害が生じた時は生活パターンを見直し支援しております		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬は一週間のケースに朝・昼・夕と区分され、用法・用量は管理ファイルにてスタッフ全員が把握出来る様にしてあります。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	お天気の良い日には近くの公園に散歩へ行き、外の様子を充分満喫して頂きホーム内では亀や植木の世話・洗濯物たたみ等出来る事を探し生き生きと生活出来る様支援しております。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	個々の希望合わせ職員や時にはご家族と買い物や戸外に出かけられる様支援しております。	天候、体調に合わせ、散歩に行ったり、利用者の希望で、職員と一緒に近隣のスーパーに買い物に出かけている。また、電車を使用しての外出や、バス・フェリーを使用して千葉への遠足などにも出かけている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理が出来なくなるとご家族からの意見が多くホームで管理していますが可能な限りお金の所持や使用を支援しております。		

スカイホーム横浜

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人からの希望があればいつでも自由に電話を使用して頂いております。手紙が届く入居者さんは返事を書き、近くのポストへ一緒に散歩がてら投函しに行きます。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	食堂の続きには畳の間があり冬にはコタツで暖をとり談話しソファを置いてくつろぎ、テーブルには季節感のある花を飾り壁には入居者の作品や写真を掲示し楽しんでいただいております。	玄関、屋上にはプランターで育てた季節の花が咲き、利用者の心を和ませている。リビングにはお茶セット、加湿器が備えられ、続きの畳の間にはこたつがあり、居心地よく過ごせるよう工夫している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	コタツ・ソファを自由に使用しテレビを見たり気の合った入居者と自由に過ごし語り合っております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時には今まで使用していた馴染みの物、ダンス・ベッド・仏壇等持ち込まれ、自宅同様安心した気持ちで生活出来る様支援しております。	居室は洋室と和室があり、それぞれ、利用者が思い思いに馴染みのたんす、鏡台等を置いている。また、自身の墨絵等の作品やお気に入りの写真等を飾り、くつろげる雰囲気になっている。居室に家族が泊まることもできる。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者の個々のレベルに合わせてシルバーカー・歩行器・車椅子を使用し、風呂場入り口・廊下には手摺り、玄関の靴ぬぎ場には折りたたみ備え付けイスを設置しております。		

目標達成計画

事業所名 スカイホーム横浜
 作成日 21年3月15日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	29		地域とのつながり	運営推進会議等の場を活用し、地域の方の協力を得ながらボランティアの受け入れ等増進を行いたい	
2	13		職員一人ひとりのスキルアップ	より多くの研修を職員全体が体験できるようにする。	
3				職員一人ひとりが目標を決め発表や話し合いの場を作る。	
4					
5					

注) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。